

# 広報かなぎ

平成16年8月号 No.460



## 川倉小子どもねふた

7月24日、川倉地区を練り歩き、キッズソーランを披露する子どもたち



# 「熱く燃える」

夏の祭典

夏まつり PART1

かなぎDE納涼! ノッてけ04

7月30日

笑って...  
魅了。興奮。



青森F・C・T



五所川原ブルースカイ



スノーピーとジャンケン



ふわふわシャインMELLOW  
花嵐桜組

「笑って!おもしろバンド」「聴かせます!アカペラ」や「魅せます!スーパーダンス&よさこい」の3部構成で夏まつりPART1が始まった。

炎天下の『暑さ』と『熱さ』のなかコミック的なバンドで会場を笑いの渦にした五所川原ブルースカイのバンド、見事なハーモニーで観衆を魅了させた青森F・C・Tのアカペラ、優雅さと華麗なスーパーダンス、そして一糸乱れぬよさこい踊りなど、金木夏まつりの初日に華を添えた。

会場となった津軽三味線会館屋外ステージは、大きな拍手がいつまでも鳴り響いていた。また、会場内の出店コーナーには、冷たい飲み物やかき氷など『涼』を求めるお客で賑わいを見せていた。

一発勝負・熱唱  
拍手喝采

夏まつり PART3

カラオケ大会・歌謡ショー

8月1日



浜博也歌謡ショー

『輝け!!金木歌謡大賞金木夏まつりカラオケ大会』には、多くの参加者が集い、のど自慢を競い合いました。

遠くは秋田県能代市と大間町などからの参加者あり、金木夏まつりカラオケ大会の人気ぶりがうかがわれた。

もと鶴岡雅義と東京ロマンチカ3代目リードボーカルの浜博也歌謡ショーは、素晴らしい歌唱力と軽妙な会話でステージを盛り上げ、持ち歌の『おまえがすべて』『男の浪漫』や師匠の細川たかしのヒットメドレーなどを熱唱し、会場からは、うちわで扇ぐ人やタオルを手渡す人で熱気が充満。屋外ステージは拍手と歓声に包まれた。



カラオケ大会



浜博也歌謡ショー



# 夏

# 夏の祭典に

出演者総勢263人。  
夏の夜空に太鼓の音が響き、  
津軽の夏は熱く燃える！

夏まつり PART2

かなぎの四季

7月31日



嘉瀬の奴踊り



金木さなぶり荒馬



吹奏楽部発表



津軽三味線まんじ会と  
地元小中学校の皆さん

地元小中学校の吹奏楽部の演奏でスタートした夏まつりPART2は、西日が照り返す厳しい暑さのなか、金木小・金木中・金木南中の児童生徒たちは、日頃の練習の成果を思う存分に発揮し、すばらしいメロディーを奏でては観衆から盛大な拍手を浴びていた。



金木登山囃子

郷土芸能「かなぎの四季」をイメージに、春は金木さなぶり荒馬踊り、夏は嘉瀬の奴踊り、秋は登山囃子、冬は津軽三味線演奏と次々に披露され、観衆は酔いしれ、そしてボルテージが上がり、最高潮。

金木町が大好きという『大館曲げわっぱ太鼓』のメンバーたちは、エネルギッシュに、そして怒涛に繰り広げる太鼓の音で、金木の夏の夜を熱く熱く燃え焦がしていた。



大館曲げわっぱ太鼓

もっと  
盛りあげ  
隊



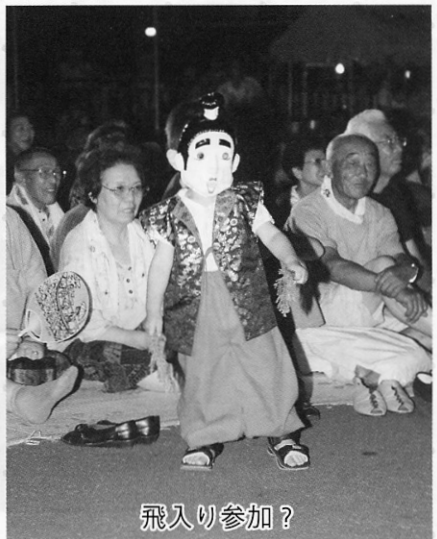
うちわを配る町人権擁護委員



「涼」を求めてグイッと



おいしいよ 買って!! 枝豆



飛入り参加?



将棋教室

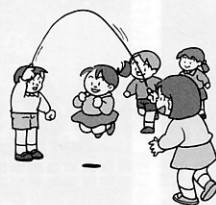


囲碁教室



グランドゴルフ教室

子どもたちの『遊ぶ』環境の変化により、学年の違う子どもたちと遊ぶのが苦手、集団の中でうまく自分の考えを伝えることができない。などの状況を踏まえ、教育委員会と地域の多くの方々の協力を得て『地域こども教室』がスタートした。



# 地域子ども教室

この教室は、学校休日を利用し、学年の異なる友達と自由に遊んだり、地域の人たちと交流の場を設け、社会のルールを身につけ、人と人との付き合いを学んだり、自分の考えを正しく伝える力を育み、子どもたちが心豊かにたくましく、自信と意欲をもって生きることができるよう、大人の力を結集し、子どもたちを支援していくものです。



子供チャレンジ「うどん作り」

この教室は、学校休日を利用し、学年の異なる友達と自由に遊んだり、地域の人たちと交流の場を設け、社会のルールを身につけ、人と人との付き合いを学んだり、自分の考えを正しく伝える力を育み、子どもたちが心豊かにたくましく、自信と意欲をもって生きることができるよう、大人の力を結集し、子どもたちを支援していくものです。



卓球教室

## 夏の交通安全運動

# 気の緩みは事故のせと

夏の交通安全運動が七月二十一日から三十一日までの十一日間、交通安全意識の高揚と交通事故防止の徹底を呼び掛けました。



リレー旗引き継ぎ

初日の二十一日、役場前で第二十二回リレー式青空交通安全大会が行われ、小泊村、市浦村、中里町から引き継いだリレー旗が金木町交通安全対策協議会長の鳴海町長に渡され、鳴海町長が「交通事故のない明るく住みよい地域づくりを目指しましょう」とあいさつを述べ、佐々木金木警察署長と葛西地区安全協会長がそれぞれ「夏の暑さで気が緩むことなく、安全運転に努



大きな声で安全宣言

めてほしい」「交通マナーやモラルの意識を高めましょう」とあいさつを述べました。

また、第一保育所の岩泉柗汰くんと白川果歩ちゃんふたりは元気な大きな声で「ぼくたち、わたしたちは交通ルールを守り、道路には絶対飛び出しません。道路でも遊びません。おとうさん、おかあさんからもらった命を大切にします。」と安全宣言をしました。

交通安全大会終了後は、車列によるパレードに出かけ、『子供の交通事故防止』『若者の暴走運転の追放』『飲酒運転の根絶』を呼び掛けていました。運動期間中は、朝早くから

## ～マスコット配布～



町内五ヶ所で街頭監視の実施や保育所の子どもが警察署の協力を得て、嘉瀬地区や斜陽館前で行き交う車の運転手に交通安全マスコットなどを配布しました。





8月7日～9日(旧暦6月22日～24日)に川倉賽の河原地蔵尊例大祭開催され、多くの参拝者が訪れ『亡き御霊』に手を合わせ、供養をしていた。約2,000体の地蔵様が安置されている本堂は、線香の煙が漂うなか御札書きの人々であふれ、本堂南側の坂道には無数の風車が風に揺られ、イタコの口寄せで参拝者は、涙を流していた。また、民謡手踊り発表会が境内野外ステージで行われ、多くの観衆で賑わいをみせていた。



# 川倉賽乃河原地蔵尊例大祭

川倉賽乃河原の歴史は古く、開創は今から1,100年前(貞観時代)に慈覚大師によるもので、大師自作の石像地蔵尊が明治中期まで祀られていた。その頃は、病氣平癒祈願として本尊を持ち歩き、供養などを行っていることから、本尊は身代わり地蔵尊ともいわれている。



本堂

慈覚大師像



慈



山門

8月3日、川倉賽乃河原境内出入口前に、地蔵尊(様)の普及に努めた功績を讃え『慈覚大師像建立開眼除幕法要』が行われた。建立した慈覚大師像はブロンズ像、土台は白御影石できている。

## イタコの口寄



平田さん

神秘的なイタコの口寄せは、数珠をあやつり、独特な口調で唱える。一心不乱に耳を傾け、泣きくずれる人、悲しみにうちひかれ奇声を出す人。不思議な世界。でもそこに展開される世界はひとつの神秘である



斉藤さん



木村さん



石盛りと  
風車…。

本堂南側の急な坂道の両側には無数の石盛りがある。ここを訪れる人々は石を積みかさねてゆく。

～一つ積んでは父のため、  
二つ積んでは母のため～  
幼くして父母と死別したものへの歌を…。いつ聞いても悲しみに打たれる。

## 走れメロス駅伝競走大会



第10回走れメロス駅伝競走大会が7月10日、芦野公園の特設コースで行われ、小中学校7チームが参加し、健脚を競い合いました。開会式で町教育委員長の「太宰作品に親しみ、スポーツを通して健康になってほしい」と激励のことばを述べた後、号砲とともに一斉にスタートした。1周1kmコースのそばで、多くの家族連れが声援を送っていました。大会結果は次のとおりです。

第10回走れメロス  
駅伝競走大会記録

- 小学生の部 第1位：金木小 第2位：嘉瀬小 第3位：喜良市小A
- 区間賞 1区：神島 実孟（嘉瀬小4年）3分52秒 2区：川嶋沙耶佳（金木小4年）4分01秒 3区：平川 怜（嘉瀬小5年）3分38秒  
4区：古川 優和（金木小5年）4分16秒 5区：秋元 翼（金木小6年）3分54秒 6区：山田 千明（金木小6年）4分01秒
- 中学生の部 第1位：金木南中 第2位：金木中
- 区間賞 1区：三上 桃子（金木中1年）3分50秒 2区：平川 大介（金木南中1年）3分33秒 3区：今 真梨奈（金木南中2年）3分56秒  
4区：今 涼二（金木南1年）3分50秒 5区：今 恵絵奈（金木南中2年）3分46秒 6区：伊藤 潤哉（金木南中3年）3分38秒

## 観光モニュメントがきれいに!!

有限会社小山内電設（代表＝小山内実章）が7月14日、金木自動車学校前の観光モニュメント『津軽』の清掃奉仕を行いました。

毎年この時期、観光モニュメントに『鳥のフン』が着き、観光客に悪いイメージを与えてはならない。と高所作業車を使い洗剤で汚れを落とし、水でキレイに流していました。今年で2回目となった清掃奉仕を終え「観光シーズン前に、町の顔である太宰モニュメントの清掃ができ、とてもさわやかな気持ちです。」と感想を述べていた。



## 商工会青年部が桜の苗木を植樹

商工会青年部（部長＝小野正範）が7月17日、町へ桜（ソメイヨシノ）の苗木10本を寄贈し、部員の皆さんで芦野公園内に桜を植樹しました。

桜の寄贈と植樹は、平成18年に青年部創立40周年を迎えるため、その記念事業の一環として、地域社会への貢献を目的に、町民の憩いの場『芦野公園』へ植樹したものです。

部員の皆さんは「芦野公園は、町最大イベントである『金木桜まつり』が開催され、青年部活動に大きく携わっているため、愛着心がある。これからも桜の苗木の寄贈と植樹を継続し、いつまでも美しい芦野公園を守っていきたい」と抱負を述べていた。

## 楽しい祭りで夏を満喫!!

7月24日、町高齢者生活福祉センター主催の『手づくりの夏祭り』が中央公民館で開催しました。センターご利用者が少しでも夏祭りの気分を味わい、楽しんでいただく会場には、焼き鳥、焼きそば、アイスクリームなどの飲食コーナーをセットし、ステージでは金踊会、さくらの会、童謡を歌う会、由美の会、個人ボランティアなどの歌や華麗な踊りが披露され、夏祭りを一段と盛り上げていた。当日、地元金木高校生25人がボランティアとしてお手伝いし、汗まみれになりながらも、親身になっておじいちゃん、おばあちゃんの食べたい物の注文を聞いては、テキパキと動いていました。



## 夏の夜空に花火の大輪と盆踊り

大東ヶ丘サントピアホーム（園長＝花田洋三郎）が7月25日、同施設の特設お祭り広場で夏祭りを開催しました。今年で13回目を迎える会場入り口の沿道には、多数の提灯が飾られ、訪れた参加者をやさしく迎え、中央には夏の風物詩『やぐら』が設営され、郷土芸能の金木さなぶり荒馬や嘉瀬の奴踊り、サントピア登山ばやしなどが披露され、参加者から盛大な拍手が送られていた。その後、花火の大輪が夏の夜空に咲き乱れ、やぐらを囲んでの盆踊り大会が始まり、津軽の短い夏を楽しんでいました。